

令和二年度 文学部 欧米言語文化学科 推薦入試 小論文問題②

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に入用すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子の問題は三頁からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 字数制限のある解答では、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。
- 8 選択した科目の解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 9 問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ること。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合上、文章の一部を改めたところがある。(100点)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(安井泉『ことばから文化へ』による)

問

グローバル化の名のもとに「ことばはコミュニケーションの手段である」とする最近の風潮に対する筆者の考えを、文中の言葉を用いてまとめた上で、それをふまえて、ことばを学習することに対するあなたの考えを六百字以内で述べなさい。